

平成26年度 墨田区学習状況調査速報値

平成26年10月21日
墨田区立八広小学校

平成26年5月8、9日に、区立全小学校の生徒を対象にして学習状況調査を実施しました。本調査は、前学年までの学習内容の定着状況について調査しており、その調査結果の本校の概要を速報値としてお知らせします。

教科	観 点	墨田区学習状況調査結果										全国学力・学習状況調査	
		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		6年A	6年B
		目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	本校平均 正答率	本校平均 正答率
国語	国語への関心・意欲・態度	73.8	82.9 79.0	78.8	78.1 81.7	63.8	54.5 63.8	60.0	61.8 61.1	70.6	66.8 74.5	27	34.4
	話す力・聞く力	83.3	89.0 88.3	85.0	85.8 87.7	80.0	75.0 78.3	65.0	70.6 67.9	68.3	69.3 71.0	73.4	48.9
	書く力	76.3	86.4 81.5	76.9	74.5 79.2	53.0	33.4 53.7	51.5	51.1 51.9	74.5	64.5 77.8	67.5	27
	読む力	64.4	69.0 64.3	66.9	66.0 68.6	64.4	63.4 65.2	63.9	63.8 63.3	50.0	47.3 49.7	67.1	52.4
	言語についての知識・理解・技能	87.2	93.9 91.5	79.1	72.0 83.0	71.2	65.7 75.4	71.2	68.7 75.7	67.4	65.3 70.3	75.6 73.7	61.4 69.8
社会	社会的事象への関心・意欲・態度					56.3	58.1 57.7	64.3	65.6 66.8	59.6	58.8 62.0		
	社会的な思考・判断・表現					56.0	57.5 57.5	65.3	69.0 68.2	58.9	59.0 61.8		
	観察・資料活用 の技能					66.2	68.7 68.7	66.9	68.4 68.6	65.9	66.6 69.2		
	社会的事象についての知識・理解					68.6	69.3 70.8	69.3	70.5 71.7	69.4	69.0 72.8		
算数	算数への関心・意欲・態度	62.2	62.8 64.8	60.0	53.8 61.5	58.9	48.9 61.1	58.6	57.3 61.1	52.0	48.5 52.5		
	数学的な考え方	67.8	67.5 71.4	62.8	58.8 64.7	54.0	42.4 57.6	59.1	59.8 62.6	54.6	54.9 56.0	38	47.8
	数量や図形についての技能	85.1	89.2 89.2	78.0	75.8 82.0	72.5	62.9 77.0	69.5	68.9 72.1	71.6	65.9 72.5	85.6	72.5
	数量や図形についての知識・理解	83.7	87.8 85.5	71.4	66.7 74.1	75.5	65.2 78.9	63.9	63.9 66.3	68.1	58.5 70.0	66	49.8
理科	自然事象への関心・意欲・態度					65.0	60.3 66.8	58.7	53.4 60.6	72.0	69.1 74.7		
	科学的な思考・表現					61.8	56.0 62.4	58.2	54.1 60.7	70.4	68.4 71.1		
	観察・実験の技能					58.8	46.0 56.0	64.3	61.3 67.8	78.0	70.6 77.6		
	自然事象についての知識・理解					72.2	64.9 73.9	66.4	60.7 68.5	70.2	68.8 73.6		

※全国学力・学習状況調査の結果につきましては、10月21日までに公表する予定です。

- 全国平均を上回っている
- 目標値を上回っている

- 1) 目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合を示したものです。観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値をもとに算出されています。
- 2) 平均正答率：正答率(特定の設問に正答した児童の割合)の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる際は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値のことです。なお、正答率を算出するうえで、記述・論述式問題の準正答(部分点)については、正答数を0.5として換算しています。

2 区調査結果の分析

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話す力・聞く力」については、4年生以外は、目標値を上回っているが、「書く力」については、4年生と6年生は目標値を10ポイント以上下回っている。また、「言語力」についても、2年生以外は目標値を下回っている。 <p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生以上の学年も、ほぼ全観点が目標値を上回っている。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学年も、目標値を下回っている観点多い。特に、4年生は3つの観点が10ポイント以上下回っている。 <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様、どの観点も目標値に達していない。 <p>《改善の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科においては、現在行っている日記指導を継続するとともに、「書く力」と「言語力」を結び付けて指導していく。 ・社会科においては、好成绩の理由を明らかにし、継続して指導していく。 ・算数科においては、問題解決学習を中心とした授業改善を行うとともに、基礎・基本の定着を図るための効果的な習熟度別指導を工夫していく。 ・理科においては、実験結果にこだわるだけでなく、科学的思考・表現の過程を重視した指導をしていく。

※今後、調査結果の詳細な分析を行い、「学力向上を図るための全体計画」(学校としての授業改善プラン)を10月21日(予定)までに公表いたします。